

2008年3月期は、中期経営計画「ヤマトグループレビュー・革新3か年計画」の最終年度にあたり、当期の連結営業収益は1兆2,259億74百万円、連結営業利益は681億80百万円という業績でした。

ヤマトグループは、中期経営計画の最終年度として、グループ内売上構成比のうち約80%を占めるデリバリー事業の着実な拡大と、BIZ-ロジ、ホームコンビニエンス、e-ビジネス、そしてフィナンシャルといった非デリバリー事業の分野において積極的に事業展開を行い、デリバリー事業への過度な依存体質からの脱却に向け、一定の成果を残すことができました。

また、今回、将来に向けた取組みとして、さらに競争力のある国内外の一貫物流サービスを提供するため、より一層国際化が予定される羽田空港に隣接する土地を入札により取得し、きめ細かい国内のネットワークの強みをさらに強化するために陸海空の物流の玄関口などの複合的な役割を担うインフラ整備を行いました。

当期の期末配当金につきましては、1株当たり12円とさせていただきます、中間配当金とあわせて、年間配当金は2円増配の22円としました。

私たちは、当期のアンニュアルレポートにおいて現在のヤマトグループの姿を「Still a Leader, Still an Innovator」と表現しています。今後も事業イノベーションを実践し、企業価値を向上させてまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

有富 慶二

取締役会長

瀬戸 薫

代表取締役社長
社長執行役員



左 有富 慶二
右 瀬戸 薫